

数カ月前から食事中、特にお茶を飲むとよくむせます。食べ物が喉に残っていたり、痰が絡んでいたりする感じがして、夜もよく眠れません。嚥下障害を疑っています。何科を受診すればよいでしょうか。また有効なりハビリ法はありますか。(86歳、女性)

嚥下障害



李進隆医師

嚥下障害とは、食べ物や飲み物を口の中に取り込み(口腔期)、飲み込んで食道に送り込み(咽頭期)、食道を通過して

耳鼻咽喉科で内視鏡検査を

胃に入るまで(食道期)という一連の嚥下の過程のどこかが正常に機能しなくなった状態を指します。原因としては、脳血管障害や神経・筋疾患などが挙げられますが、加齢により嚥下に必要な筋力が低下したり、嚥下反射が遅れたりすることも要因

り、喉に食べ物が残っている感じや、ずっと痰が絡んでいる感じといった自覚症状は、嚥下機能が低下し始めた嚥下障害の初期症状である可能性が考えられます。ただし、喉の奥に腫瘍ができてくる可能性もあるため、まずは耳鼻咽喉科を受診するこ

とをお勧めします。耳鼻咽喉科では内視鏡で喉の奥に腫瘍ができていないかの確認や嚥下機能検査を行います。嚥下内視鏡検査では、着色した水やとろみを付けた水、ゼリーなどの食べ物を実際に飲み込んでいるところを内視鏡で観察し、咽頭期の嚥下障害の原因と重症度の評価を実施して、検査の結果に基づき、適切な食形態・飲み込み方などのアドバイスや嚥下機能の改善に有効なりハビリ法の指導を行います。

むせやすい状態が続くと誤嚥性肺炎につながる恐れがあります。これを予防するには、口腔体操による口腔期のリハビリや口腔ケアももちろん必要ですが、咽頭期の評価を行った上で、適切な嚥下リハビリを行うことが重要です。

(兵庫県耳鼻咽喉科医会、李進隆 耳鼻咽喉科しんりゅうクリニック院長)
◇第1、3、4日曜に掲載します。